

表紙（見本）

**対象国**

**提案事業名**

**2026 年度 草の根技術協力事業（●●●型）**

**【草の根パートナー型 3,000 万枠】 ※該当しない場合は削除**

**事業提案書**

**2026 年●月●日提出**

**提案団体名（法人番号 13 桁）（学校コード 13 桁）**

※学校の場合、法人番号と学校コードの両方を記載してください。

※共同事業体の場合は全法人名と法人番号（13 桁）を記載してください

※地域活性型で指定団体がある場合は指定団体名と法人番号(13 桁)も記載してください。

## 事業提案書 様式

様式 II	事業提案書 表紙・目次・略語表・本文	
様式 II - ア	事業提案書要約	⇒別掲載
様式 II - イ	国内外における同一・類似分野での活動経験（記入例あり）	⇒別掲載
様式 II - ウ	事業の実施スケジュール（記入例あり）	⇒別掲載
様式 II - エ	プロジェクトマネージャー、主な業務従事者の経歴書（記入例あり）	
様式 II - オ	業務従事者配置計画（記入例あり）	⇒別掲載
様式 III	事業対象地域／活動地域の地図	
様式 IV	医療行為を伴う事業提案 補足情報（医療行為を伴う案件の提案時のみ）	

### 見積書様式

以下ウェブサイトの「本体契約」の「内訳書」にある「見積書」の様式を用いて作成してください。

[https://www.jica.go.jp/about/announce/manual/guideline/kusanone/kusanone\\_saisyaku.html](https://www.jica.go.jp/about/announce/manual/guideline/kusanone/kusanone_saisyaku.html)

※資格審査書類は全て別掲載。

# 目次

略語表	0
<b>(1) 提案団体／指定団体の経験・組織体制</b>	
1) 提案団体／指定団体の活動経験	1
2) 提案団体／指定団体の組織体制	
3) 地方公共団体の取り組み（国際協力に対する方針・施策と本事業の関連）	
4) 地方公共団体の強み・特色	
5) 地方公共団体の指定団体への具体的な関わりや支援体制	
<b>(2) 事業の概要</b>	
1) 提案骨子	
2) 他 JICA スキームへの併願	
3) 過去に不採択／提案取下げとなった内容の改善点	
4) 事業実施の背景及び課題分析	
5) 提案事業のフレームワーク	
6) 事業内容	
7) カウンターパートとの連携・協議状況	
8) 事業計画策定時の留意事項	
9) 事業終了後の持続性・団体の展開ビジョン	
<b>(3) 事業の実施体制</b>	
1) プロジェクトマネージャー及び主な業務従事者の経験・能力等	
2) 業務従事者配置計画	
3) 英語または現地公用語等での事業実施体制	
4) 事業のモニタリング方法	
<b>(4) 2026 年度重点加点</b>	
1) 新規参入／活動展開の促進	
2) 開発課題への貢献	
3) 国際協力への理解促進／日本の地域社会への還元や活性化	

注) 全ページ下中央にページ番号を振り、各項目のページ番号を目次に記載ください。

(1)の3)4)5は地域活性型のみ記載してください。

事業提案書（本文）の合計ページ数：●●枚

草の根協力支援型は本文 15 ページ以内

草の根パートナー型、地域活性型は本文 20 ページ以内で作成してください。

注) 上限枚数に表紙・目次・略語表、様式Ⅱア～オ、様式Ⅲ及び様式Ⅳは含みません。

注) 提案時には、網掛け部分は削除してください。

## 略語表

記入例) JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
記入例) SDGs	Sustainable Development Goals	持続可能な開発目標

※組織名の略語を使用する場合は、略語表を作成して事業提案書の本文の前に添付してください。

※アルファベット順に記載をお願いいたします。

※適宜行を増減して記載ください。

## (1) 提案団体／指定団体の経験・組織体制

### 1) 提案団体／指定団体の活動経験

### 2) 提案団体／指定団体の組織体制

※支援型で大学学部等の「教育研究上の基本組織」またはその付属施設単位で応募する場合、人員体制は当該組織・施設単位で記載してください。収支実績は大学自体の収支を記載してください。  
※地域活性型の場合、以下の情報は指定団体のみ記載してください。提案自治体に関する記載は不要です。

人員体制	合計 名 (有給・無給を含む)					
	有給専従	名	うち国内	名	うち海外	名
	有給非専従	名	うち国内	名	うち海外	名
	無給	名	うち国内	名	うち海外	名

収支実績	202●年度	総収入額	円	総支出額	円
	202○年度	総収入額	円	総支出額	円

**【以下3) 4) 5) は地域活性型のみ記載が必要】 \* 地域活性型以外の場合は、以下削除**

### 3) 地方公共団体の取り組み (国際協力に対する方針・施策と本事業の関連)

### 4) 地方公共団体の強み・特色

### 5) 地方公共団体の指定団体への具体的な関わりや支援体制

## (2) 事業の概要

### 1) 提案骨子

### 2) 他 JICA スキームへの併願

### 3) 過去に不採択／提案取下げとなった内容の改善点

### 4) 事業実施の背景及び課題分析

#### ① 事業実施の背景及び課題分析

#### ② 事業対象地域における援助概況

③提案団体におけるこれまでの取組

④事業アプローチの有効性

5) 提案事業のフレームワーク

①プロジェクト目標

②指標

③成果

④活動

⑤事業の受益者層（ターゲットグループ）及び選定理由

6) 事業内容

①活動内容

②事業の実施スケジュール

7) カウンターパートとの連携・協議状況

①カウンターパートの概要

②選定理由及び提案事業に関する協議状況

③提案団体との協力実績

④提案事業におけるカウンターパートの役割、得られる協力の具体的な内容及びカウンターパートが本事業に取り組む理由

8) 事業計画策定時の留意事項

①環境社会配慮

②ジェンダー平等と女性や女児のエンパワメント

9) 事業終了後の持続性・団体の展開ビジョン

①事業終了後の持続性の確保

②団体としての展開ビジョン

**(3) 事業の実施体制**

1) プロジェクトマネージャー及び主な業務従事者の経験・能力等

2) 業務従事者配置計画

3) 英語または現地公用語等での事業実施体制

4) 事業のモニタリング方法

**(4) 2026年度重点加点**

1) 新規参入／活動展開の促進

2) 開発課題への貢献

3) 国際協力への理解促進／日本の地域社会への還元や活性化

## プロジェクトマネージャー、主な業務従事者の経歴書

氏名			ローマ字	
本提案事業における役割				
申請時の年齢	歳	健康状態		
所属先	団体名			
	所在地			
	所属部署		役職名	
語学力*	語	A・B・C	(資格)	A: ビジネスレベル (上級)
	語	A・B・C		B: 中級
	語	A・B・C		C: 日常会話程度
学歴	年 月	卒業・修了・中退		
専門分野 (具体的に記入)				
国際協力活動 従事経験	年 月	期間	主な活動内容 (対象国)	
提案内容に関連する活動経験・資格・所属学会等	年	月		
合理的配慮を要する場合には記載ください。				

\*A: 英検準1級、TOEIC760点以上に相当、B: 英検2級、TOEIC510~760点程度、C: 英検3級、TOEIC400~500点程度を目安とします。

注1: A4サイズ1枚程度でまとめてください。

注2: 本経歴書は、ご提案いただいた案件を実施・運営する経験や能力を有しているかを確認する目的で利用します。

それ以外の目的では一切利用いたしません。この利用目的にご同意いただいた上で経歴書を提出ください。

## プロジェクトマネージャー、業務従事者の経歴書

氏名	大草 百合子		ローマ字	OHKUSA Yuriko
本提案事業における役割	プロジェクトマネージャー。事業期間中、〇回現地に渡航予定。渡航の際には、現地で住民を対象とした栄養改善に関する研修の講師も担う予定。			
申請時の年齢	45 歳	健康状態	良好	
所属先	団体名	特定非営利活動法人 グラスルーツ国際協力の会		
	所在地	東京都千代田区大手町 1-4-1		
	所属部署	海外事業部	役職名	プロジェクトリーダー
語学力*	英語	Ⓐ・B・C	TOEIC 860	A：ビジネスレベル（上級） B：中級 C：日常会話程度
	仏語	A・Ⓑ・C		
	ベトナム語	A・B・Ⓒ		
学歴	年 月	卒業・修了・中退		
	2000年3月	〇〇大学教育学部卒業		
専門分野（具体的に記入）	住民参加型村落開発			
国際協力活動 従事経験	年 月	期間	主な活動内容（対象国）	
	200X年〇月	〇年	JICA 海外協力隊として A 国で活動（コミュニティ開発）	
	200X年〇月	〇年〇か月	グラスルーツ国際協力の会による「貧困層のための食糧増産と収入向上プロジェクト（A 国）」で業務調整を担当	
	200X年〇月	〇年〇か月	同会による「住民参加型農村開発プロジェクト（B 国）」においてプログラム管理を担当	
提案内容に関連する資格・所属学会等	年	月		
	200X年	〇月	PCM 手法コース 計画・立案コース終了	
	200X年	〇月	PCM 手法コース モニタリング・評価コース終了	
合理的配慮を要する場合には記載ください。	なし			

\*A：英検準1級、TOEIC760点以上に相当、B：英検2級、TOEIC510～760点程度、C：英検3級、TOEIC400～500点程度を目安とします。

注1：A4サイズ1枚程度でまとめてください。

注2：本経歴書は、ご提案いただいた案件を実施・運営する経験や能力を有しているかを確認する目的で利用します。

それ以外の目的では一切利用いたしません。この利用目的にご同意いただいた上で経歴書を提出ください。

